

ほうゆうたより 12^{DEC}月号

編集委員：施設長 池 功 司

平成 23 年ももう少しで終わりです。今年一年は震災をはじめとする自然災害と原発事故に日本国民は苦しめられました。美幌からも多くの方が被災者の救済に向かい、その人達から現場の悲惨な現状を聞いた時に、自分たちが幸せに暮らせる事に感謝しました。被災者のために募金をしましたが、そのお金も何処へ行ったのやら……。結局、人と人の「絆」が一番だった様です。今年ホームは6月に黒田のばあちゃんが96歳の天寿を全うしました。後は懸案だった玄関のひさしにガラスが入り雨風雪の心配をせず、スムーズに車に乗れるようになりました。少々痛い出費でしたが問題が一つ解決しました。そう、忘れていけないのが11月に行った、美幌町初めての徘徊模擬訓練の実施です。訓練には多くの自治会の皆様の協力を頂きました。この訓練が今後高齢者の行方不明捜索に役に立つものと確信しました。

来年は今年の反省点を踏まえ、実施したいと考えています。あっと言う間の一年でしたが、来年は少しでも世の中が明るくなれば良いと期待します。最後になりますが、今年一年無事に過ごす事が出来たのも、ご家族・地域の皆様お陰と心から感謝いたします。皆様方のご健康を心から祈念申し上げます。来年も宜しくお願いいたします。良い年をお迎えください。



12/23日はホームのクリスマス会でした。今年も職員が一人一人にプレゼント選び、私がサンタクロースになって配りました。プレゼントの中身は靴下手袋、スリッパなど普段使ってもらう物ばかりです。

たわいも無い物ですが、気は心と言う事でカンベンしてもらいましたが、お年寄りの本音は、美味しい食べ物か現金の詰め合わせの方がいいのに決まっています。私もそう思っていますが、いまだに叶いません。



12/28日は恒例の餅つきでした。今年はホーム関係者・家族にはあまり声をかけず、少々控えめに行いましたが、つく餅の量は昨年よりもと言うより、毎年確実に増えています。ホームのお年寄りの平均年齢は88歳で、普段の食欲はさほどでもないのですが、餅となると話は別の様で、まあ～食べる事。そこで今年は一度に2升の餅がつける餅つき機を導入し、杵と機械の2本立で行い少しでも多く餅を食べてもらう様工夫をしました。結果は大正解でしたが、機械のつきあがる時間と杵でつきあがる時間が重なり大忙しでした。皆腹いっぱいきたての餅を楽しみました。

1月の行事予定

1・1/2・3 書初め・カルタ取り

2・誕生会 高松さん 1/2-97歳、星さん 1/11-90歳、日下部さん 1/21-75歳